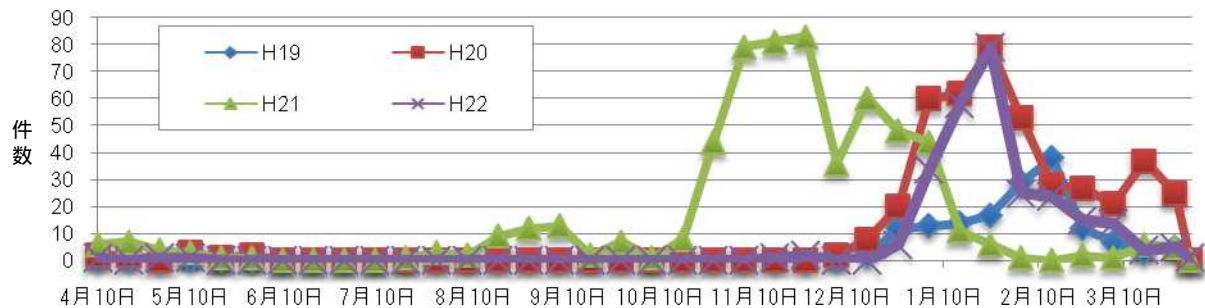


平成 22 年度インフルエンザ検出状況

年度別陽性件数

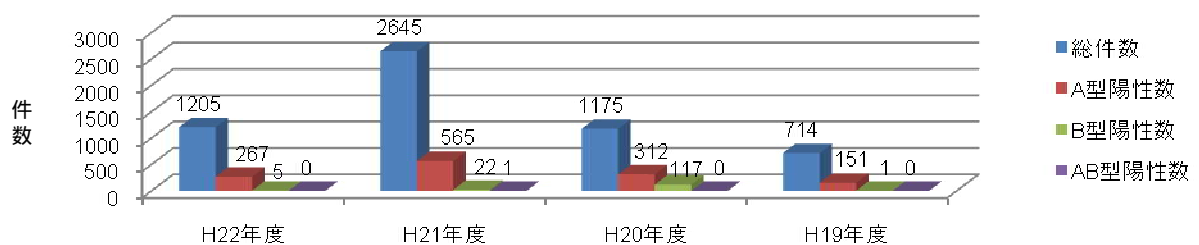
H22年度の当院での陽性数の動向は、1月から2月にかけてピークが見られました。新型インフルエンザが大流行したH21年度を除いた、例年と同様の傾向でした。



年度別依頼件数・各陽性数

当院でのH22年4月から23年3月までの1年間、インフルエンザの依頼件数は1205件であり、前年度の半数以下でした。全陽性数は272件、陽性率は23%でほとんどがA型でした。

山形県衛生研究所でのインフルエンザウイルス分離状況によると、流行当初の11月はA香港型が多く、1月に入り新型が主体となっていました。



例年であれば、4月中には終息するはずですが、今シーズンは5月に入っても陽性者が出ています。(A型陽性23件・B型陽性14件/依頼232件 H23.4.1~5.11現在)

手洗い、うがいを励行して予防に努めましょう！

咳エチケットも忘れずに！

